



仁淀川町

2026.8 第84号

議会だより



令和8年
仁淀川町議会 会議録



仁淀川アウトドアセンター クリスタルカヤック

高知県仁淀川町議会

TEL 0889(35)1081 / FAX (35)0575 / 発行人：議長 若藤敏久 / 編集：議会だより特別委員会 / 印刷：(株)高知新聞総合印刷

84号もくじ

行政報告（町長・教育長）

一般質問（6人が登壇）

コラム（1）20年に一度の式年遷宮

コラム（2）中学生職場体験

6月定例会

議案の審議 そここが聞きたいQ&A（6月定例会）

委員会報告（総務教育民生常任委員会）

2P

3P～8P

5P

6P

8P～11P

12P

町長行政報告



片岡町長

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金】

①商品券

令和8年3月1日時点で町民1人あたり2万5千円で、児童手当受給者1人につき追加で2万5千円の給付。

②タクシー支援金

町内のタクシー事業者に対して、車両1台に付き、25万円を交付。

③飲食店等支援金

町内の飲食店などを対象に1事業所あたり10万円を交付。

④医療・介護事業所支援金

事業所の形態別に18万円から108万円の支援金に、常勤職員一人あたり5万2千800円、非常勤職員3万9千600円を、上乗せし交付。

【仁淀川町まちづくり総合計画】

令和8年4月1日から令和13年3月31日までの計画を策定。町が将来どうあるべきかを示し、目指す姿に

向けてまちづくりをどう進めていくかの基本となる計画で、変化にしながら向き合い、挑戦を諦めない町を全体ビジョンとした。

【固定資産税全期前納口座振替未処理】

令和8年度の一括納付に係る口座引き落とし処理について、担当者が処理を誤ったため、直ちに該当者に事態の報告及びお詫びの手紙を送付した。

【高知県消防広域化】

県全域での常備消防組織の一元化、消防広域化について実務協議会が開催され、仁淀川分署を引き続き残すよう、要望した。

【タイ訪問】

「鮭祝タイランド1号店」が完成した。スタッドハウスのデザインを採用し、使用されたほとんどの木材は町産材。

農林課長が出席し、町産の一番茶を出席者に味わってもらい高い評価をいただいた。

今後町産品のPRと販路拡大につながる取り組みを進めていく。

教育長行政報告



和田教育長

【水泳授業】

「小学校の水泳指導における安全管理指針」に基づき、池川・別府小学校とも水深調整台を準備することができ、今年度は両校とも水泳の授業を行う。

昨年度実施できなかった小学校の水泳記録会を別府小学校にて実施する。

【部活動地域展開】

中学校の生徒がよりよい環境でスポーツができるように、取り組む。

5月11日には先進地視察として南国市に担当者3人が研修に行き、組織的な取り組みについて多く学んできた。

今年度の中学校総合体育大会（県体）・全国中学校体育大会（全中）終了後をめどとして、今後の部活動の在り方を地域、学校、保護者と取り組んでいく。

【中学生の短期留学】

学びを深めることができると安全面を第一に考え、現在検討している。

【小中一貫校】

旧吾川中学校跡地を活用しての設立に向けて、令和8年度は学校統合準備委員会を設立し、基本計画作成に取り組む。

一般質問 6人が登壇 町政にズバリ！

目的

- * 行政の現状や課題を把握し、その適正性をチェックする。
- * 住民の声を代弁し、行政に意見や要望を伝える。
- * 政策を提案し、行政の改善を促す。
- * 質問と答弁を通じて、行政情報を公開し、住民の理解を深める。

一般質問

防災計画の見直し

【答】 令和9年度から作成の予定



問 藤原 大議員

見直しの提案理由として、

①南海トラフ地震震度分布予測にて、本町は震度6強から震度7へと変更された。

②能登地震を振り返ると自衛隊の到着まで20日程度、町の計画では1週間程度となっている。

③自主防災組織・事業継続計画（BCP）について公開されている情報がない。

④復興計画という項目に策定の基準はあるが事前復興計画はない。

見直しにあたり、キッチンカーの事業者には補助金の条件を追加してはどう

か？

【答】 片岡町長

地域防災計画は、現在改定に向けて準備中。沿岸部の市町村を中心に事前復興計画が作成されている。本町も令和9年度から取り掛かるよう準備を進めている。

南海トラフ地震では、基幹道の寸断による孤立集落が多数発生する可能性があるため、各地区で対応するため資機材が必要。また、防災対策において、自助共助の取り組みは不可欠。関係機関との連携を図り、防災計画の作成、防災訓練など取り組む。

【答】 吉川総務課長

防災訓練で、消防団、自主防災組織や女性防火クラブと連携を深めているが、ホームページでの情報発信には至っていない。関係団体と協議する。

BCPの策定状況は、役場は策定しているが、関係事業者には報告義務がないためすべては把握できていない。町内建設業者数社か

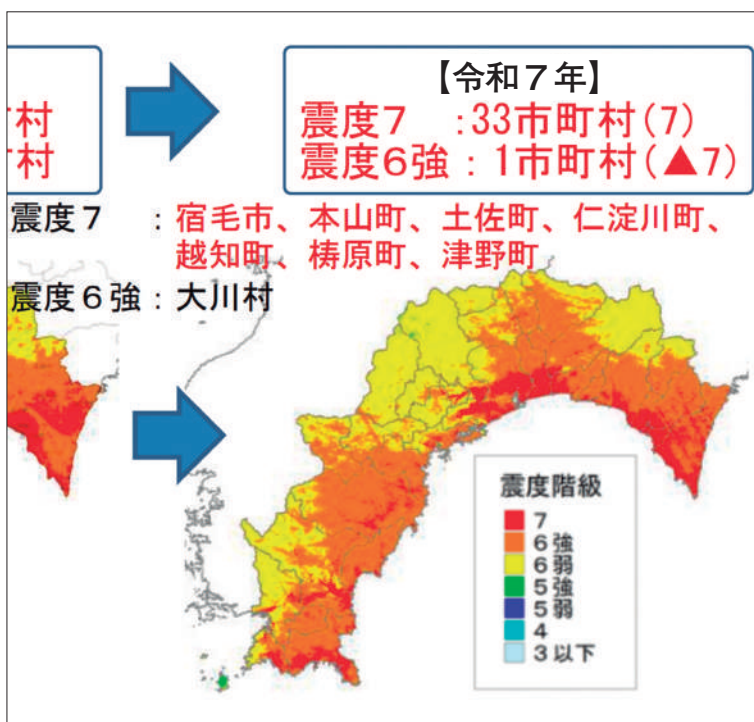
らは報告を受けております。

災害復興について、建設業者だけでなく林業・飲食業の事業者とも今後は連携を考えていく。

【答】 大河ドラマ「ジョン万」振興として活用

問 藤原

朝ドラの「らんまん」あ



南海トラフ地震による震度分布予測

【答】 町長

らんまん」と続き、大河ドラマ「ジョン万」の制作が発表された。鹿児島に上陸し高知へ帰る道中には仁淀川町を通っている。近隣市町村とも連携して、交流人口の増加につなげてほしい。

松山街道の多くは山道ではあるが、観光ルートとなる可能性があり、観光振興に活用を考えている。

一般質問

**歴史的遺産の保存
と伝統文化の継承**
答 持続可能な形で後継者
 不足解決に取り組む



問
 古田 智子議員

①町指定の登録は13年間なく、他町と比べ有形文化財の割合が低い。独自の基準やプロセスはあるか？

②無形文化財である神楽はユネスコ登録の可能性という追い風がある一方、担い手不足は危機的状況にある。持続可能な後継者育成に向け、町外の専門家の力を借りる考えは？

③現在旧仁淀村の民具は秋葉の宿に保管されているが、旧吾川村・旧池川町にも点在する民具を集約し、展示する考えは？

答 和田教育長

①町独自の明確な指定基準

はなく、県の基準で運用している。

②継承については、保存会などが小中学生への指導や体験会を行っているが、町主体での取り組みはない。各団体と連携し、小中一貫校での地域学習なども生かしながら持続可能な形で後継者不足に取り組む。

答 井上教育次長

③池川や吾川の民具は適切な展示ができていない。学校再編が進んだ場合の廃校活用なども含め、民具を展示する施設を整えていきたい。

茶業振興について
答 農林課が中心となり
 継続して取り組む

問 古田

JAが説明会で、令和10年までに生産者負担での工場運営へ移行する方針を示した。茶農家に廃業を迫るに等しい内容だが、町は把握していたのか。今後の対応策は？

答 片岡町長

説明会への案内はなく、後日農家からの情報で把握した。

答 奥田農林課長

令和6年度に茶業振興計画を作成し、茶業研究会も発足させた。農協を交え、農家が廃業に追い込まれることがないよう農林課が中心となって解決策を検討し、担い手の募集も続けていく。

**全職員受講のフレイルサ
ポーター研修について**
答 住民との交流を深め
 る、未来への投資

問 古田

全職員へのフレイルサポーター養成講座の受講指示について、目的と効果は？

答 町長

先進的な取り組みを学ぶ住民と交流することで、高齢者や若いへの理解を深め、その視点を行政運営や施策立案に生かすため全職

員に受講を指示した。

問 古田

重要な事業は他部署にもたくさんある。フレイルだけ全職員に受講させ、他部署の事業にはそのような研修がないのはおかしい。

一般職の受講に伴う人件費の機会損失（概算約305万円、納税義務者1人あたり1千361円）という試算に対し、それに見合う効果をどう考えているか。

答 町長

各課の研修はそれぞれの業務を深めるためのものだが、今回は多くの住民が近くで学ぶ機会であり、顔の見える関係づくりも目的の一つである。若手も含めた職員が老いを学び、高齢者の気持ちに寄り添った行政施策を行うため、職務として全職員に受講をお願いした。

機会損失という見方もあるが、未来への投資であると考えている。



土佐町郷土学習センターの民具展示
 (廃校となった森小学校を利活用)

一般質問

フレイル予防の活動について

【答】当面の間大崎地域集会所を活用していく



問 大野 弘議員

町の介護予防の取り組みと、フレイル活動拠点が移転しない理由は。

【答】片岡町長

保健師による健診や保健指導、ミニデイサービス、あつたかふれあいセンター、社会福祉協議会、高知県農協と連携した介護予防事業を実施している。フレイル活動拠点の移転については、機器の保管場所や共食スペース、調理環境の確保が課題となっているため、関係機関と協議を継続している。

【答】和田教育長

保育所運営を最優先とし、フレイル活動との両立に向けて協議を続ける。

問 大野

フレイル活動を各地区へ広げるべきではないか。また、大崎集会所から早急に移転すべきではないか。

【答】町長

各地区開催では参加者が少数となる可能性があり、一定規模での実施に意義があると考えます。

【答】教育長

地域住民や関係者の意見を聞きながら対応を検討する。

【答】吉川総務課長

地域集会所は、町条例で地域のコミュニティ活動を推進し、集落間の相互交流を深め、福祉の増進、生涯学習の設定などに寄与することを目的としている。

問 大野

移転するかしないのか。子ども優先で取り組んでもらいたい。

【答】町長

地域の集会所や多目的施設へ行き、少人数でやればいい。活動は広く行うことが行政というもの。町長は町民の声を聞くと自負しているが、NPO法人の移転には良い返事をいただけない。どんな関係にあるのか。

【答】町長

NPOフレイルサポート仁淀川との関係は、特に役員をしている訳ではない。仁淀川町から委託を受けた主体であり、大事に事業を進めている。

【答】教育長

子どもたちのこれからのことについて深く考えていきたい。

携帯電話の不感地区はあるのか

【答】坂本地区や椿山地区の一部などがある

問 大野

携帯電話の不感地域はあるのか。

【答】町長

坂本地区や椿山地区の一部を不感地域として把握している。県や通信事業者と連携し、解消に向けて要望を続ける。

問 大野

防災上の観点から早急な対応が必要ではないか。

【答】町長

不感地域の解消に向け、引き続き関係機関へ要望していく。

コラム

(1) 20年に一度の式年遷宮

6月4日～5日に高知県神社庁の職員さんからお誘いを受け、20年に一度の式年遷宮お木更行事に参加させていただきました。

高知県から74人、そのうち吾川支部からは12人の参加でした。

前日に浜参宮神社で身を清め、当日は一班約500人で御神木を運搬しました。

私の参加した一日の行事参加者だけで2500人ほどと、1300年以上続く日本の歴史と強く結びついた文化の重要さ、素晴らしい文化の重要さ、素晴らしさ、日本国民の関心の高さを体験しました。

仁淀川町にも200年以上続く土佐三大祭の「秋葉まつり」「池川神楽」「名野川磐戸神楽」「安居神楽」ほか誇れる文化が多くありますが、どこも後継者の問題など存続の危機にあります。

いま一度、皆さんに関心を持っていただき、関係人口を増やせるよう、維持・発展に取り組んでまいりたいと思います。

(藤原 大 記)



式年遷宮お木更行事

一般質問

観光行政について

〔答〕他県での取り組みを参考に協議する



問 竹本 文直議員

仁淀川町の観光資源は、年間30億円、50億円の可能性があるといわれている。その価値を行政としてどのように維持発展させ、持続可能な観光地としていくのか。

答 片岡町長

多くの観光客が毎年訪れているが、町内へお金が落ちる仕組みはなく、オーバーツーリズムも発生している。

他県で取り組まれている予約制や駐車場料金徴収の取り組みを参考に今後どうしていくかいいのか協議している。

観光条例審議会を設置しており、町、住民、観光関連事業者、観光関連団体、観光客の守るべきことをご議論いただき、今後起こる問題にもこの審議会の意見を尊重していく。

問 竹本

観光条例施行規則の5条には、「町長は、観光地として良好な環境を保つために特に必要があると認める地区を迷惑行為防止重点地区として指定することができ」とある、地区を指定した迷惑行為、防止重点地区の指定も必要では。

答 荒木企画振興課長

仁淀川町の観光条例審議会委員10人の方に議論をいただいております。その中で地区を指定した迷惑行為、防止重点地区の指定などの議論もしている。

条例が5年にでき、これからは現場に沿った、現状にあったものに変えていくことは必要でありよりよいもの



宮崎の河原

にしていきたい。

問 竹本

長期30年、50年先の仁淀川町はこのような町にするという、大きな目標を据え、それに向かってこつこつと努力していくことが将来、大きな成果を生むと考える。

答 町長

そういう長期の視点を持って、私は進めていきたい。



(2)

中学生職場体験

6月定例会参加の感想

池川中3年 廣瀬ここみ

職場体験学習初日(午前中)は、議会を見学させていただきました。私は、こども議会に2回参加させてもらっているのですが、マイクの使い方や誰がどの席に座るか分かっていただけなくても、こども議会と今回見学した議会では似ているところがありました。雰囲気、しゃべり方などは違うものだと思います。例えば、

聞いかけられた場合はマイクなしで「異議なし」と言っていたり、報告や議案の上程の場面では、資料に沿って話していると思いました。だけど、議長の指示どおりに動いていること、議会が始まる5分前には全員がそろって着席している点も同じだと思いました。

見学を通じて、議員さんは町民の代表として意見を伝えており、町民との関係や執行部側もたくさん課がそろい、協力することが大切な場なので、人とのつながりは大切だと分かりました。



職場体験の様子

一般質問

校外活動・移動時の安全確保について
答 対応しており問題はない

問 大石 邦廣議員

5月初めに部活動で移動中の高校生が乗ったバスの悲惨な事故が発生したが、本町における校外活動時の移動においては、安全性は確保できているか。

答 和田教育長

本町は、「仁淀川マネジメントサービス」に委託しており、運転者の資格をはじめ安全教育の徹底・保険加入・車両管理・運行管理・万が一の事故の発生したときの対応も情報を共有し委託業者・関係機関が連携し対応する。児童生徒の安全確保はできている。

問 大石

「校外活動での移動の実態は把握してる」との答弁だが、父兄の方から、町内での移動時には、父兄の車に児童生徒が乗り合わせて移動する場合があるが、町内での移動でも安全は確保できているのか。

答 井上教育次長

町内での移動については把握できていなかった。実情をしっかりと把握し、学校・保護者の意見なども聞きながら対応を考えていく。

渇水期の飲料水対策について検討結果は新たな水源確保などに補助金を

問 大石

飲料水・生活用水が枯渇し使えない生活は日本国憲法が保障する「生存権」に抵触する事案と思う。厳寒の中で、水圧不足で給湯器などが使えず入浴もできない地域へ、町長なら移住するか。

答 片岡町長

そのような地区には移住はしない。

新たな水源を探し水道施設をつくる場合は5千万円程度必要、費用対効果を考えると対応しない。

問 大石

費用だけではなく、行動を。地区のタンクに給水し住民が節約しながらでも温水が使えて入浴もできる環境整備をお願いする。

「NPO法人フレイルサポート仁淀川」活動内容は共食などの介護予防支援

問 大石

①フレイルサポートは、民間法人として収益事業をされているのか。②フレイルサポートに出している税金は、委託費なのか補助金なのか、税金の使い方について適切か確認はできているか。③「共食」は無料か。④調理を担当される方は報酬がでているか。⑤共食の

提供は食品衛生責任者などを配置し保健所の「飲食業」の許可は得てるのか。

答 町長

①収益活動は行っていない。②町から、介護保険の生活支援コーディネーターという位置付けで企画運営を行っている。③「共食」は600円で提供。④調理される方は町から「町ボランティアポイント」という形で有償。⑤食品衛生法の許可はとっていない。

問 大石

公共施設である地域集会所に民間NPO法人が機具備品を固定することは、災害時の避難所や他団体が使用時に支障が出る。町の管理施設として適切ではないと思われる。

先の議会で大崎の交流センターへの移転を町長は明言されたが、地域住民・保育所に迷惑をかけながら大崎集会所を使用し続けている。「町長として言わなければならないこと言うべきこととは言う」を有言実行し、交流センターや他の遊休施設を紹介するなどをして移設しフレイル予防活動を町内全域に広げていただきたい。

答 町長

新聞で報道されたような固定した器具や備品はない。交流センターでの活動は、整理体操などを地べたでやることになるし一番の問題は「共食」でスペース的に難しいとの結論に至っている。フレイルサポートの活動は町の委託事業でもあるので町も協力しながら地域住民のフレイル予防に積極的に関わっていきたいと思っている。

※②の質問に答弁がなかったため、再々質問の後、議長に発言許可を求めたが、許可をいただけなかった。

一般質問

小中学校再編に
どう取り組むか

【答】小中一貫校とする方針

【問】
藤崎 源彦議員

小中一貫校とする案か、
小2校・中1校とする案か
で検討を重ねてきたが、利
点と欠点について、重視す
べき点は何か。

【答】
和田教育長

利点は、小中一貫校の9
年間を見据えた効率的な教
育計画により、児童生徒が
統計的、継続的な学習がで
き、学力の向上や定着が図
られる。

欠点は、小中学校それぞ
れの教員の統合が難しいこ
とや、PTA、地域協議会、
部活動などの仕組みの再構
築する必要がある。また、
9年間同じ顔触れになり、
人間関係が固定されがちと

なる。

【問】
藤崎

令和6年度当時、教育次
長であった現町長と、その
あとを継いだ現総務課長
は、地域懇談会での町民の
声をどのように受け止めた
か。

【答】
片岡町長

小中学校再編は、住民の
総意で決めるものと考え
た。同時に職責として、前
町長が進める小中一貫校の
方針に従い、意見交換を
行ってきた。

現在は、町長として当時
とは異なる立場から、改め
て児童生徒数の推移や教育
環境、将来のまちづくりを
総合的に考え、小中一貫校
が適正と判断した。

【問】
藤崎

小中一貫校とした場合、
これを生かしてできること
は何か。

【答】
教育長

義務教育9年間を見通し
た系統的な教育課程の編成
と、指導の充実が重要。
教育では、自ら考え判断

し表現する力を育成するこ
とが重要であり、そのため
の教育環境の整備や、教職
員の連携強化が、学力向上
の鍵である。

【問】
藤崎

児童生徒には、本町の歴
史、文化、産業について教
え、郷土愛を育む教育が重
要。これについて、どう考
えるか。

【答】
教育長

郷土学習は、郷土愛を育
むために重要である。

小中一貫校を義務教育学
校とするにあたっては、地
域住民や保護者の意見を聞
き、一体となって取り組み
たい。

【答】
町長

先人たちが築いてきた歴
史や文化、地域産業につい
て、学ぶ機会を充実させ、
地域の魅力や価値を実感で
きる教育を進めていくこと
が大切。

また、地域住民との交流
や体験活動を通じて、思い
や知恵に触れることは、郷
土愛を育む上で大きな意義
がある。

議案の議決結果

6月
定例

議案および議決結果

議員各位が賛否表明	
件名及び提案理由	議決結果
専決処分の報告について ※仁淀川町税条例の一部を改正するもの	全員賛成 承認
専決処分の報告について ※仁淀川町介護保険条例の一部を改正するもの	全員賛成 承認
専決処分の報告について ※仁淀川町国民健康保険税条例の一部を改正するもの	全員賛成 承認
専決処分の報告について ※令和7年度仁淀川町一般会計補正予算（第9号）を定めるもの	賛成多数 承認 反対：大野

議員各位が賛否表明

件名及び提案理由	議決結果
専決処分の報告について ※令和 7 年度仁淀川町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）を定めるもの	全員賛成 承認
専決処分の報告について ※令和 7 年度仁淀川町国民健康保険直診勘定特別会計補正予算（第 4 号）を定めるもの	全員賛成 承認
専決処分の報告について ※令和 7 年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算（第 4 号）を定めるもの	全員賛成 承認
令和 7 年度仁淀川町繰越明許費繰越計算書の報告について ※令和 7 年度仁淀川町繰越明許費繰越計算書の報告	全員賛成 承認
令和 8 年度仁淀川町一般会計補正予算（第 1 号）について ※令和 8 年度仁淀川町一般会計補正予算（第 1 号）を定めるもの	賛成多数 可決 反対:大石・大野
令和 8 年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）について ※令和 8 年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）を定めるもの	全員賛成 可決
令和 7 年度道路メンテナンス事業町道大崎線（川口橋）橋梁補修工事請負契約の一部変更について ※議会の議決に付さなければならない契約、予定価格5,000万円以上の工事請負契約のうち、500万円以上の変更契約であるため、議会の議決を求めるもの	全員賛成 可決
仁淀川町過疎地域持続的発展計画の変更について ※仁淀川町過疎地域持続的発展計画の内容を一部変更しようとするもの	賛成多数 可決 反対:竹本
財産の取得について ※令和 7 年度（繰越）仁淀川町自走式仮設水洗トイレカー購入事業における財産取得費用の予定価格が700万円以上であるため、契約に際し議会の議決を求めるもの	全員賛成 可決
財産の取得について ※令和 8 年度仁淀川町建設課ダンプトラック購入事業における財産取得費用の予定価格が700万円以上であるため、契約に際し議会の議決を求めるもの	全員賛成 可決
財産の取得について ※令和 8 年度仁淀川町教育用iPad購入事業における財産取得費用の予定価格が700万円以上であるため、契約に際し議会の議決を求めるもの	全員賛成 可決
教育委員会委員の任命について ※不在である教育委員会委員の後任に、上記の者を任命したく、議会の同意を求めるもの はまばた れいら 濱端 玲蘭（日鉄宮ヶ坪）	全員賛成 同意
農業委員会委員の任命について ※不在である農業委員会委員の後任に、上記の者を任命したく、議会の同意を求めるもの かまくら のぶよし 鎌倉 信昌（北川）	全員賛成 同意

第3回6月定例会

Q & A

議案の審議

そこが聞きたいQ & A

第3回(6月)定例会

■専決処分の報告について(令和7年度仁淀川町一般会計補正予算(第9号))

問 大野議員

地域生活圏形成リーディング事業の収入の部の国庫支出金について、87万3千円減額された理由と、支出の部で7節報償費の参加者謝礼、81万8千円の減額の理由。旅費の当初96万円計上、内訳を聞く。

答 荒木企画振興課長

モニターツアーで首都圏の高齢者を招きフレイル体験に来ていただいた。

減額要素としては、有識者などに謝礼を払うことも想定していたが、人数・回数が少なかった。

問 大野議員

本来は来る方が払って体験するのが本当では。

答 片岡町長

国から担当者も来ていただき、事業の有効性があると言っていた。首都圏と比べて仁淀川町は取り組みが20年先を進んでいる。住民主体の高齢者同士で学び合うということで、先進的な取り組みを体験していただくことは、モニター観光資源になるかもしれないということ、国土交通省に認めていただいて予算計上している。想定していた回数が必要なかったため、今回減額した。

問 古田議員

首都圏から高齢者を招いたモニターツアー参加者の選定基準や行程など、明文化されている概要は？

答 企画振興課長

本事業は11月臨時会で認められたもの。高齢化が進む本町で、行動する高齢者の育成、住民主体のモビリティチャレンジ、外貨を稼ぐ滞在型観光の企画検証、郵便局などとの連携によるコミュニティハブの在り方検討などを実施した。

答 町長

国の事業計画書に選定理由の規定はない。フレイル活動は全国展開しているため、今までの関係性があるところに声をかけた。

問 古田議員

旅費などの内訳や行程はどうなっているか。無理に首都圏から高齢者を呼ぶ必要があったのか。余ったお金を国に戻す選択肢はなかったのか。

答 企画振興課長

ツアーは二度行い、1回目4人、2回目6人が参加し精算も行っている。将来的にフレイル予防活動の体験が産業・観光振興の一つになると狙いもあり、さまざまな意見をいただく趣旨だった。4泊5日であり、宿泊は観光センターであったと記憶している。

問 古田議員

観光振興や外貨獲得が目的なら、対象は生産年齢人口であるべき。高齢者を招聘するのは手段が誤っていると考えがどうか。

答 町長

通常は生産人口がターゲットだが、今回はお金を持っている高齢者が費用を払ってまで体験しに来てくれるかという事業化の可能性を視野に入れている。また地域生活圏構想の中で歴史や文化をPRする目的もあり、採択を受けた。

問 藤原議員

消防費の住宅耐震化、耐震事業費補助金について、地震が来る前に耐震工事が必要な建物は多いはず、工事費が余らないように、しっかりと調査と啓発を。

答 吉川総務課長

耐震の必要な建物かどうかの診断や工事を行うために県の補助金を活用して行っている。県の予算ともやり取りをし、県に採択されたものは必ず実施している。

■令和8年度仁淀川町一般会計補正予算(第1号)について

問 野村議員

教育費の設計委託料に関して、具体的な説明を求めろ。

答 井上教育次長

旧吾川中学校跡地の校舎、体育館、プールを取り壊すための設計委託料である。

問 大野議員

教育費の学校給食費1千500万円の減額は。

答 教育次長

当初予算で共同調理場の配送者の買い換えで計上していたが、中1校、小2校の計画で、給食を各学校に配送する予定だった。この配送車が21年が経過し老朽化が進み、新たなものに3台を順次更新する予定をしていた。しかし、今年の3月議会で小中一貫校再編となり、配送車は更新する必要がないと判断し減額した。

第3回6月定例会

Q & A

問 大野議員

14年の小中一貫まで、あと6年ほどある。21年経過し故障したら困ると思う。買い換えをすべきでは。

答 教育次長

走行距離は10万kmだが、修繕なども特に必要なく、問題なく走行しており購入しなくても大丈夫という判断をした。

問 大野議員

予算を組むときには、必要か？ しっかりと査定を。予算計上を。

答 町長

8年度予算査定的时候は中学校の統合ということ、給食センターから各小学校や中学校に配送する予定をしていたが、3月に小中一貫校に方針を変更したため、ご理解いただきたい。予算査定をしっかりと行う。

問 岡田議員

現在の総事業費は約100億円に対し、町の実質負担額は約28億円。財源は確保できていると

いう全員協議会での説明だった。町民の声を聞き、

将来留學生の受け入れや、個性にあった教育の場、将来を見据えた必要な施設など、児童、生徒のための新しい学校を建設するべきである。

答 片岡町長

基本計画対策委員会、議会と町民一体となって小中一貫の建設を進めたいと思います。

問 古田議員

小中一貫校の100億円という金額はあくまで概算であり、教育方針が決まらなければ確定しないという理解で合っているか。子どもたちを中心に教育の在り方を考える方向性か。

答 教育次長

約100億円はあくまでも概算。今後は配置計画策定等を委託し、検討準備委員会を経て基本計画策定、来年度に設計を行う。子どもたちがしっかりと学べる教育を目指し、保護者などと協議しながら子どもファースト

を進める。

問 藤原議員

農業林業振興費、真鍮看板取付工事費10万円、業務委託料50万円とは？ 場所や設置期間、場所代などの費用は発生しないのか？

答 奥田農林課長

三菱地所株式会社が東京有楽町駅前前約1haに3年間、暫定利用の広場を開設する。本町からも、町産材100%のベンチを設置させていただき、横にさまざまな情報発信できる看板を設置する予算。
委託料は、木材を製材・加工し、東京に送り込むまでとなっている。

■仁淀川町過疎地域持続的発展計画の変更について

問 竹本議員

町長は昨年の選挙で、中学校のみを統合すると公約。その考えに賛同して投票した町民は多くいる。その方々にこの変更をどのように説明されるのか。

そして山村留学導入の考えはあるのか。

答 町長

小中一貫校の説明会の冒頭に、再度住民の皆さんに直接私から説明をさせていただく。

山村留学の関係では全国から仁淀川町に注目をしていただけのようなものは、教育長と相談しながら詰めていく。

□新たな管理職の紹介

川村

強

(健康福祉課長)



※読後、議会だよりに対するご意見、ご感想をお寄せください

(仁淀川町議会事務局) ☎0889-35-1081

☎781-1592 吾川郡仁淀川町大崎200番地

※メールアドレス gikai@town.niyodogawa.lg.jp

※議会を傍聴しませんか

(日程は、防災無線などでお知らせいたします)

高吾北広域町村事務
組合議会

●高知県消防広域化

直近の動向

令和8年度

「高知県消防広域化に関する実務協議会」の立ち上げ。

令和9年7月

「高知県消防広域化推進協議会」(法廷協議会)の設置。

●感染症関係

新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ3カ月間、施設利用者及び職員に罹患者なし。

●高吾北清掃センター公金

紛失
捜査に進展なし。

総務教育民生常任委員会報告

総務教育民生常任委員会で実施した調査、研究などの内容について、下記のとおり報告します。

期 日 2026(令和8)年4月14日(火) 10:00~11:00

場 所 仁淀川町役場3階 会議室

議 事 令和8年度総務教育民生常任委員会の活動方針について

参 加 者 8人

委 員 長 竹本 文直

副委員長 大石 邦廣

委 員 古田 智子 片岡 智準 藤原 大 若藤 敏久(6人)

議会事務局 鎌倉事務局長 田村係長(2人)

総 括

本委員会における令和8年度の調査、研究のテーマは「発達障がい児への支援体制の構築について」とすることに決定した。

仁淀川町議会 映像配信のご案内

●アクセス方法

スマートフォンなどでの視聴

「議会だより」の表紙のQRコードから
パソコンで視聴

仁淀川町のホームページから

●ライブ(実況生中継)定例会・臨時会の実況中継

議会開催当日(実際の議会進行から2~5分遅れ)見逃した場合や再度視聴する場合は、VOD配信をご利用ください。

●VOD(録画)配信

議会の開催後1週間~10日後(平成元年12月議会以後のもの、おおむね4年間)。



議会中継視聴

仁淀川町のホームページからもアクセスできます。
<http://www.town.niyodogawa.lg.jp/>

スマートフォンで視聴

左記の二次元コードを読み取って、スマートフォン用サイトへアクセスできます。なお、スマートフォンで映像をご覧になる場合は、Wi-Fiを安定して利用できる場所での閲覧を推奨します。

議 会 日 記

令和8年3月

1日 佐川高校卒業式

3月6日 3月定例会

6日 議会だより特別委員会

11日 池川中・仁淀中学校卒業式

22日 池川小学校卒業式

23日 別府小学校卒業式

議会だより特別委員会

25日 議会だより特別委員会

4月

2日 吾川郡町村議会議長会定期総会

6日 高吾北地域安全協会会計監査

7日 佐川高校入学式

8月10日 吾川郡町村議会議長会県外視察研修

13日 議会だより特別委員会

14日 総務教育民生常任委員会

30日 高吾北地域安全協会役員会・総会

5月

11日 道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会通

常総会、道路整備促進高知県大会

18日 高知県市長会と高知県町村会との共催による

講演会

19日 仁淀川改修期成同盟会通常総会

21日 仁淀川町商工会通常総会

22日 仁淀川町建設業協会通常総会懇親会

26日 町村議会議長・副議長研修会

27日 吾川地区戦没者追悼式

副議長（ロ）メモ



皆さんのおかげでさまざまな研修、交流に参加させていただき貴重な経験を積ませてもらっています。改めて感謝申し上げます。

4月8日～10日に吾川郡議長・副議長会研修で石川県能登地方に被災地研修に行ってきました。災害時の状況やその後の復興状況の説明を受けましたが、輪島の人口は震災後の1年間で40%減少した、など復興の難しさ、事前準備の大切さを痛感しました。

5月18日に高知県市町村長・議長会研修で自治体のトップとしての災害時の対応について講習を受けました。静岡県御殿場市の土砂災害を教訓に、情報発信、行動のマニュアル化することで迅速な対応が可能になり、町民を安心させられる。そして事業継続計画（BCP）の策定など仁淀川町の現状の課題を見つけました。

5月26日に全国町村議会議長・副議長研修を受け、翌日は国会議員の先生方とも意見交換をしてきました。地域未来

戦略、外国人材の確保育成、男女共同参画と、三つのテーマを人口減少社会という切り口からそれぞれ講演していただきました。人口減少が始まって十数年間でできた地域創生の成功例を分析、実践していく。崖っぷちの仁淀川町が最先端で取り組んでいかなければならない。かつて外国人労働力の犯罪などの問題は無視できず、制度の見直しにより中小企業への負担はより大きなものになると感じました。

そしてなにより、一番難しい問題ではありますが、人口を増加させることを目指していかなければならないと改めて確認した研修でした。

勉強し、発信、共有し、皆で仁淀川町をよくする議論ができれば、と思います。そして仁淀川町から、日本全体を良くしていければ幸いです。

副議長 藤原 大

話 題



町内の商店を巡ろう！

「仁淀川蒸留所」



- ・営業時間 (月・火・木・日) 11:00～16:00 (金・土) 11:00～18:00
ご予約いただければ夜営業も可!!
- ・定休日 水曜日(出張や出店などで変動あり。Instagramに営業日カレンダー投稿してます!)
- ・住所 高知県吾川郡仁淀川町竹ノ谷18-2 (TEL 0889-20-9795)

店長からのコメント

はじめまして！ 仁淀川蒸留所です！

蒸留所では、水質日本一の仁淀川の水を使って、最高の酒を造ります。

飲食スペースでは、お酒をはじめ、コーヒーやクッキーなども提供します。お酒が好きな方はもちろん、そうでない方もお気軽にお立ち寄りください！ たくさんの方とお会いできると嬉しいです！

編集後記

最近のAIの進歩は素晴らしいもので、議会の発言の要約や資料作成など公私にかかわらずChatGPTやGeminiを使用しています。「仁淀川町には電車で1時間で行ける」とか平気で嘘をつくAIもあるの自分でしっかりと裏どりをすることは欠かせませんが、それでも各段に作業の効率化は上がりました。AIに限らず、ドローンなどの最新技術やボンボンドロップシールのような若者の流行も「それもう古いよ！」と言われないよう、現代社会に置いていかれないよう情報アップデートしていきたいと思います。

(藤原 大 記)

議長	委員	副委員長	委員長
若藤 敏久	野村 安夫	藤崎 源彦	大石 邦廣
			古田 智子
			藤原 大